

神戸・森林植物園

# 六甲山などのキノコを展示

## 希少種など450種

る。  
同高環境科学部と同園の共催。同高は2008年からキノコを観察、採集し、神戸市内各地で展示会を開いている。

御影高校（神戸市東灘区御影石町4）の生徒が六甲山などで採集したキノコの企画展が、同市北区山田町上谷上の市立森林植物園で開かれている。写真。約450種の標本が展示され、六甲山の豊かな自然に触れられ

国内での確認例がわずかというセイタカノウタケ、直径約20センチのボール状のハナビラタケなどが並び、図鑑に載っていない種類や、まだ和名がないものもある。キノコの匂い体験コーナーでは、桜餅やメープルシロップに似た香りが楽しめる。



「公衆トイレ」を思わせる臭いのキノコもあり、西山小学校2年の松崎力丸君（8）は「このキノコ、くさい」と顔を背けていた。

（那谷享平）